



① 旧割烹小幡

地元山形に戻り、就職先を探す大悟（本木雅弘さん）。目にとまる一枚の求人広告。そして面接に——

期待と不安を胸に日和山の坂をのぼり「NKエージェント」の扉を叩く大悟。ここ旧割烹小幡は「NKエージェント」の社屋という設定で使われました。

建造が昭和元年頃と伝えられ、当時の建築物としては珍しく、奥の和風建造物と、今回ロケに使用された洋風の3階建てで構成されています。昔の割烹らしく建物本体は大きくかなりの部屋数があり、戦後の頃より洋館の1階部分ではダンスホールとしても使われておりました。



撮影時の外観はほぼ現状での撮影となり、「NKエージェント」内の事務所はセットでの撮影が多かったのですが、2階に上がる階段や、鶴乃湯のお母さん（吉行和子さん）の納棺のシーンなどでも撮影されました。

劇中の2階で植物だらけの社長（山崎努さん）の部屋のシーンでは実際のこの建物3階部分内部からの眺めを生かしたようです。

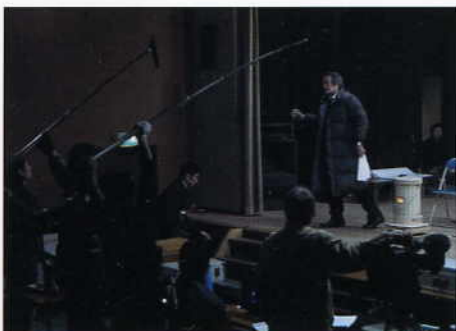
② 日吉町旧港座



大悟の初仕事？入社後すぐに社長から呼び出される。「港座…ここか？」階段前の鎖を乗り越え館内に入る。大悟を待っていた仕事とは…？

劇中でも「港座」の名前で登場しています。

内部は実際の当時の港座そのまま。試写会時「懐かしいのう」「んだんだ、こげだった。」とささやく声も。古き良き酒田の文化の一つ「港座」は銀幕の中で更に輝きを放っていました。



「納棺の手引き」
撮影風景



③ 希望ホール

大悟が所属するオーケストラのコンサートは酒田市、希望ホールにて撮影され観客たちは、エキストラ募集で集まった市民の皆さん。募集時には応募が殺到しました。

参加していただいたエキストラの皆さんには、お礼として「おくりびと」のオリジナルTシャツがプレゼントされました。

控え室のシーンの楽団員も本物の楽団員の方で、持っている楽器はすべて自前。



④ 日吉町・石畳

酒田の素敵な景色の一つ、趣のある石畳の道路で大悟の生まれた街の美しい景色として1シーン登場しています。



⑤ 中通り商店街アーケード

大悟が同級生に会うシーンで、普通の中町商店街のアーケードですが冬のシーンのため鳥海山から雪を運び撮影されました。



⑥ 山居倉庫

大悟と社長が車にて移動中のシーン。車窓の向こうには山居倉庫が。ちなみに反対側の背景は希望ホールの駐車場も確認できます。

「おくりびと」をもう一度楽しんで、そして「酒田」も楽しんでください。そして、いつかまた会おうの。